

## <本校の教育に取り組むに当たって>

今、国内外の社会や経済等は、**大きな変化の中にある**と言われている。その中であって、本校が位置する南島原市においては、特に少子高齢化及び労働人口の減少が急速に進んでいる。また、児童が目にし、手にする物や道具、情報等も日々多様化しており、これらの影響等を受けて生活習慣や家族の状況、地域社会等が、年を追って変容しているが、今後、人工知能の発達やグローバル化等により、人々の暮らしや仕事等は、**さらに大きく変わっていく**と予想されている。また、大規模自然災害や新型コロナウイルス等の発生、国際社会の不安定化等に対しては、危険を回避し、自助・共助・公助のそれぞれにおいて**身を守る術を身につけることの必要性がますます高まっている**。

このような中であって私たちは、**不易と流行を見極めながら**、本市が抱える課題と向き合い、地域に活力（元気）を与え、どんなに世の中が変化しようとも、**主体的に学び続け、明るく前向きに生き抜く力**をはぐくみながら、「**あなたがいてくれて本当に良かった**」と関係する人たちに思っていただけ「**一隅を照らす**」人づくりを進める。

## 1 教育方針

私たち野田小学校教職員は、憲法及び教育基本法をはじめとする教育関係法令並びに、長崎県や南島原市の教育方針に則り、本校の実態や地域の実情等を踏まえ、**人間尊重の精神を基調にした明るく活力ある校風**を樹立する。そのために、**徳性の涵養と郷土愛の醸成**を土台として、**あらゆる教育活動に創意工夫**を加え、**児童が持つ元気を守り発揚させ、明るく清い人としての素地を培い、これからの社会を人と共に生きるための基礎的・基本的な資質・能力を育む教育**に努める。このことの実現は、全教職員が**教育に携わる者としての使命と責務**を自覚し、**自らの人間性や人格及び指導力・実践力等**を向上させるとともに、**チームとしての機能と協働性や同僚性**を発揮することによって成る。

## 2 学校教育目標

明るく清い資質を備え、これからの社会の中で、共に元気をもって生きるための基礎・基本を身につけた子どもの育成

## 3 めざす児童像

### ◎進んで学ぶ子（知）

- ・学習への意欲を持ち、考えを深めることができる。
- ・主体的に取り組み、学習したことを生活に生かすことができる。
- ・要点をとらえた聞き方・話し方ができる。

### ◎思いやりのある子（徳）

- ・感謝の心で、人に想いを寄せ、物を大事にすることができる。
- ・相手の立場や気持ちを理解し、仲良く協力することができる。
- ・あいさつができ、温かい言葉づかいができる。

### ◎たくましい子（体）

- ・めあてを持ち、ねばり強くがんばり通すことができる。
- ・ルールを守り、活動にふさわしい行動ができる。
- ・安全や健康に気を配り、自ら安全に生活できる。

## 4 めざす教師像（野田小職員のクレド [Credo]）

- ◇初心と使命を忘れず、研修（人に習い、書を読む）に努め、確かな見識や教養、実践力を持つ教師
- ◇深い教育愛を持ち、厳しさの中に温かさを感じる、側にいる者に敬愛される教師
- ◇健康で明るく節度を保ち、困難にあっても前向きで闊達な精神を持ち続ける教師
- ◇識見と情熱をもって改革を厭わず、チームの一員として同僚に活力を与え、高め合い支え合う教師
- ◇郷土を知って愛し、その発展に資する人材育成や児童個々のキャリア形成の視点をもって授業を行う教師

## 5 めざす学校像

- ◇笑顔いっぱい为学校
- ◇美しく安心できる学校
- ◇地域とともにある学校

## 6 「学校教育目標」具現化の方向性

### (1) 基本的な生活習慣づくりと危機管理

- ①児童や保護者に寄り添い、児童の行動の様子や内面の変化（いじめ、不登校、進路不安、インターネット依存）等にいち早く気づき、機を逃さず継続して細やかに対応できる体制づくり
- ②よりよい生活習慣づくり（早寝・早起き・朝ごはん、うがい・手洗い・換気、自主的な家庭学習、礼儀・礼節等）と危機管理能力（けが・病気の予防、ストレスマネジメント等）の向上
- ③外から押し寄せる危機（大規模自然災害、新型感染症、不審者等）への対応マニュアル等の整備と共有化、対応力の向上

### (2) 道徳性や豊かな情操、望ましい人権感覚の醸成

- ①児童の実態に基づく「道徳の時間」の改善（発達段階を踏まえ、考え議論する展開へ）と、教科授業をはじめとする学校教育全体を通じた道徳教育の充実
- ②奉仕の精神と勤労意欲をもってボランティア等を主体的に実践する児童の育成
- ③礼儀やマナーを重んじ、互いの人権や人格を認め合い響き合うあたたかい人間関係の育成

### (3) 指導におけるねらいの明確化

- ①すべての授業や諸活動における意義や目標の明確化と、児童と教師の学ぶ喜びの共有
- ②指導と評価の一体化と、児童が授業等に取り組む上での「めあて」の明確な自覚化や「ふりかえり」および「まとめ」による理解の定着
- ③新しい学習指導要領への対応と、本市の課題等を踏まえた郷土への貢献につながる実践の推進

### (4) 基礎的・基本的な資質・能力の確実な定着と主体的・対話的な深い学びの推進

- ①基本的な学びの姿勢（自分の意見を持つ、分からなかったら聞く、あきらめない、試行錯誤するなど）の徹底
- ②個々の児童の実態に応じた指導の工夫や補充学習及び自主学習（家庭学習等）の充実
- ③言語活動（英語を含む）の充実と主体的・対話的な深い学びへつながる系統的な授業づくり

### (5) 思考力・判断力・表現力の育成

- ①個々の教科授業等における見方・考え方の理解と教科横断的な学びの推進
- ②ものごとを理解するための多面的・客観的・俯瞰的・長期的に捉える能力の育成
- ③「聞いて欲しい」「見て欲しい」「伝えたい」などの自発性を源泉とする情報発信力の向上

### (6) 自らの資質・能力を生きて働く力へ

- ①教科授業等で得た知見や技能等の、現実社会に役立つ力や未来に役立つ力への統合と方向付け
- ②児童自らの主体性や創造性、リーダーシップやフォロワーシップを生かした自主的活動の充実
- ③これまでの学びに基づく「人間」「暮らし」「しごと」「自然」に対する理解の推進

### (7) 主体変容

- ①他者や先哲との対話・協働を通じた思考の深化と夢やあこがれを抱く人間の育成
- ②夢・あこがれ・志を抱き、自らの未来を構想し、必要なキャリア取得（英検、各種コンクール等における成果等）をめざす計画力とセルフ・コーチング力の育成（キャリア・ポートフォリオ等）
- ③自己を高め、新しい成果（価値）をつくり出そうとする日々の習慣づくり

### (8) 郷土や地域社会等に主体的にかかわり、貢献しようとする心根に基づく社会性や市民性の育成と「開かれた学校」づくり

- ①地域の人材や自然、歴史、伝統、文化等の積極的な活用と幼保小及び小中高間の連携・連結
- ②保護者や地域等への積極的な情報発信（学校開放、たより、電話、学校ホームページ等）
- ③支援会議やPTAの充実と学校運営協議会（コミュニティースクール）への円滑な移行

### (9) 教師力の向上とそのための環境づくり

- ①校外研修への積極的な参加と校内研修との連結
- ②業務上の工夫や成果等が整理・蓄積していく仕組みの構築（「野田小学校の教育計画」と費用対効果や生産性を高める機能の強化（使用する時数の限定、目標の明確化など）
- ③自己を高め、人生を豊かに生き、児童の身近にいる社会人（大人）として憧れられる存在になるための働き方改革の推進とワーク・ライフバランスの構築

### (10) 組織体（チーム）としての実践力強化

- ①各種情報や教育への想いの共有と課題を個人で抱え込まないチーム力の向上
- ②生じた課題をチームとして省みる機会とするとともに、対応力や危機管理能力、若手を育てる機会等と捉える改善力の向上（V字回復力）
- ③経験を積んだ教職員に若手が学ぶとともに、教職員の誰もが学校運営（または学校経営）の視点をもって日々の業務に当たるなど、同僚性、協働性の向上

## 7 重点的に取り組むこと

めざす児童像	実践項目	重点項目	評価の手立て	
進んで学ぶ子	(1) 学習への意欲を持ち、考えを深める。	①学びの姿勢の徹底 ②基礎・基本の確実な定着 ③個に応じた指導の充実 ④授業の「ねらい」や意義の明確化 ⑤教科横断的な学びの推進 ⑥先哲等との対話による思考の深化	・意欲的に学ぶようにし、自分の考えを深めさせる。	・記述や発言の内容 ・話し合い時の発言内容 ・テストの結果など
	(2) 主体的に取り組む、学習したことを生活に生かす。	①「めあて」と「ふりかえり」の充実 ②活用力や表現力を育む指導の充実 ③ノート指導の充実 ④地域を学び貢献する活動の充実 ⑤全校集会や学校行事の充実 ⑥教科授業等とキャリア教育の融合	・学習内容を自分の生活（または将来）に関係付けて考えさせる。	・記述や発言 ・話し合い時の発言内容 ・キャリアシート(仮名)の記述内容など
	(3) 要点をとらえて聞き、分かりやすく話す。	①言語活動の充実 ②聞く姿勢の徹底 ③教科の見方・考え方の理解推進 ④対話による学びの深化 ⑤読書・読み聞かせの充実	・自分の考えを分かりやすく伝え、相手の話をよく聞くことができるようにする。	・話し合いの時の様子 ・学び方（聞き方）の様子など
思いやりのある子	(1) 感謝の心で人に想いを寄せ、物を大事にする。	①靴ならべ、かさの置き方の徹底 ②黙動の徹底（廊下歩行、清掃） ③持続可能な社会づくりへの理解 ④主体性を発揮する活動の充実	・感謝の心を持ってよりよい生活習慣をつくる。	・物の扱い方 ・会話の様子 ・掃除の様子など
	(2) 相手の立場や気持ちを理解し仲良く協力する	①考え議論する道徳教育へ ②ボランティア活動の推進 ③縦割り活動の推進 ④活動時の対話の充実	・自分や相手の考えを大切にし、協力して活動させる。	・話し合いの時の様子 ・発言内容など
	(3) あいさつができ、温かい言葉づかいをする。	①あいさつ日本一（いどだじ運動） ②言語環境の充実 ③あたたかい言葉づかいの推進 ④掲示教育の充実（季節感と期待感）	・進んであいさつや優しい言葉かけができるようにする。	・あいさつ ・言葉づかい ・声かけの様子など
たくましい子	(1) めあてを持ち、ねばり強くがんばり通す。	①目標設定と実行力の向上 ②セルフコーチング力の向上 ③集団行動の充実 ④係活動の充実 ⑤普賢岳登山へ向けた準備	・めあて（目標）を定めて、ねばり強く取り組むことができるようにする。	・キャリアシート(仮名)の記述内容 ・児童会活動の様子など
	(2) ルールを守り、活動にふさわしい行動をする。	①基本的な生活習慣の徹底 ②インターネット関連の指導の充実 ③いじめの未然防止と早期対応 ④礼儀やマナー・所作の習得	・ルールやマナーを守って生活することができるようにする。	・生活の様子 ・職員室等への入退室の様子など
	(3) 安全や健康に気を配り、自ら安全に生活する。	①早寝・早起き・朝ごはんの習慣化 ②交通安全指導の徹底 ③危機管理能力の向上 ④食育の充実 ⑤児童の変化に対応する体制づくり	・早寝・早起き・朝ごはんができ、安全を考えて生活することができるようにする。	・普段の様子 ・給食時の様子 ・食や安全の学習時等の様子など

<以上の取組を行う上での事前指導>

※「学校は学ぶところ」で、「間違ってもいいんだよ」ということをしっかり教える。

※いじめや人を嘲笑しない認め合うような安心できる共同体（共感的人間関係）をつくる。

※伸びたいと思う子（全児童）が、自分が持つ資質・能力を精一杯伸ばすことができる環境をつくる。